

12/9
五種

『もんじゅ』も核燃料サイクルもやめろ』
と訴える参加者=8日、東京都千代田区



「もんじゅ」核燃料サイクル
さようなら

東京で集会「完全廃炉まで」

高速増殖炉「もんじゅ」の廃炉、核燃料サイクル政策からの撤退を求める集会が8日夜、東京都千代田区の日比谷野外音楽堂で開かれました。主催は「さようなら原発1000万人アクション」実行委員会です。

安倍晋三政権は、核燃料サイクル政策の中核を占める「もんじゅ」の廃炉を含む「抜本的見直しをする」と表明。核燃料政策の破たんが明らかになっていきます。

「1000万人アクション」呼びかけ人の鎌田慧氏（ルポライター）が主催者あいさつ。鎌田氏は「安倍政権

は、原発も核燃料サイクルもすでに破たんし、展望もないのに原発再稼働に突き進んでいる。再稼働を止め、原発をなくし、核燃料サイクルを止める運動をさらに進めよう」と述べました。

「原子力発電に反対する福島県民会議」の宮下正一事務局長が現地報告。「『もんじゅ』廃炉決定で終わりでない。安全に廃炉を終わらせ、原発をゼロにするため、最後までとにもがんばりましょう」と訴えると、会場は温かい拍手に包まれました。

集会後、「もんじゅ今すぐやめろ」と書いたプラカードを手に、銀座までデモ行進しました。